

Daily Report (号外)

～FOMCの結果について～

概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は、9月16-17日に開催したFOMC(連邦公開市場委員会)において、2024年12月以来6会合ぶりに、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を0.25%引下げ、4.00%-4.25%とすることを決定しました(賛成11名、反対1名)。なお、今回の採決では、新任のミラン理事が0.50%の利下げを主張して反対票を投じました。

FOMC後に発表された声明文では、景気判断は前回の内容が維持された一方、雇用については「労働市場の状況は引続き堅調」との内容から、「雇用の伸びは鈍化し、失業率は徐々に上昇」に下方修正されました。また、最新のFF金利予測(ドットチャート)は、年内に追加で2回の利下げを行うことを示唆するものとなり、いずれもややハト派的な内容でした。

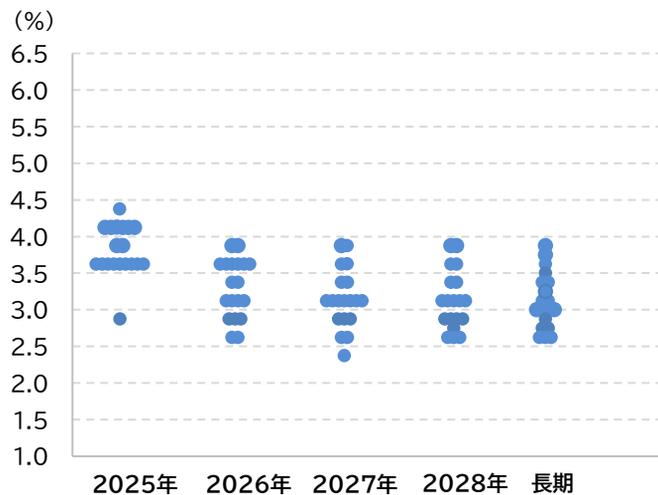
一方で、パウエル議長はFOMC後の記者会見で、「現在、確実な道筋はない。物価動向を注視する必要があると同時に、雇用の最大化も無視することなく注視していく必要がある」と発言するとともに、「今回の利下げはリスク管理的なもの」、「失業率は4.3%、GDP成長率は1.5%であり、経済が悪い状況というわけではない」と言及するなど、ややタカ派的な姿勢を示しました。

図表1 FOMC参加者の経済見通し
(中央値ベース)

	2025年	2026年	2027年	2028年	長期見通し
GDP成長率	1.6%	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%
(前回6月)	1.4%	1.6%	1.8%		1.8%
失業率	4.5%	4.4%	4.3%	4.2%	4.2%
(前回6月)	4.5%	4.5%	4.4%		4.2%
PCEデフレーター	3.0%	2.6%	2.1%	2.0%	2.0%
(前回6月)	3.0%	2.4%	2.1%		2.0%
コアPCEデフレーター	3.1%	2.6%	2.1%	2.0%	
(前回6月)	3.1%	2.4%	2.1%		
FFレート(中央値)	3.6%	3.4%	3.1%	3.1%	3.0%
(前回6月)	3.9%	3.6%	3.4%		3.0%

出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測
(ドットチャート)



出所:FRBより弊社作成

Daily Report(号外)

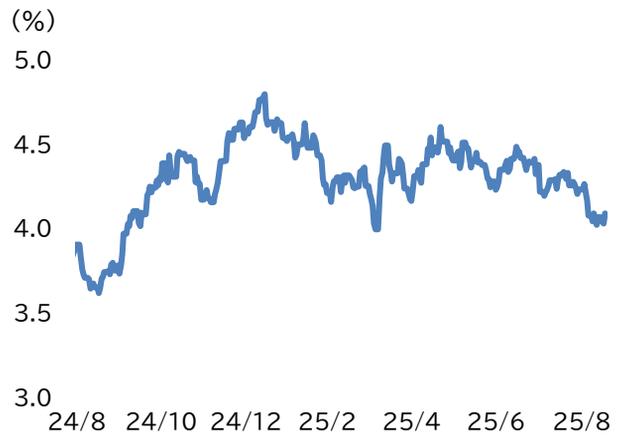
市場の反応(米国市場)

株式市場、債券市場ともに荒い値動きがみられましたが、NYダウは前日比260.42ドル高(同+0.6%)の46,018.32ドルと小幅な上昇で取引を終えました。一方、債券市場では、パウエル議長の記者会見におけるタカ派的な発言を受けて、米国10年国債利回りは0.06%上昇(価格は下落)し、4.09%となりました。為替市場では、声明文公表直後は金利低下・ドル安で反応したものの、その後は金利上昇と歩調を合わせ、1ドル=147円程度まで円安・ドル高が進みました。

NYダウの推移



米10年国債利回りの推移



(期間)2024/8/31~2025/9/17、(出所)Bloomberg

評価及び今後の見通し

今回示された内容は、タカ派的な内容とハト派的な内容が混在するものとなりました。最新のドットチャートでは、2025年は今回を含めて3回の利下げが中央値となりましたが、参加者19名のうち7名は1回以下の利下げ見通しを示した一方、10名は3回以上の利下げ見通しを示しており、二峰型となりました。年内2回の追加利下げがFOMC内のコンセンサスというわけではなく、物価動向や雇用市場動向を含め、今後の経済状況によって変動する可能性があります。

FOMCは、年内残り2回となりますが、いずれも政策金利の変更有無が注目される会合となります。各会合までに新たに公表される雇用と物価統計を中心とした金融経済統計のほか、FRB理事や政府高官の発言への注意が必要と考えています。

(ご参考)今後の主要イベント

日程	イベント
2025/9/18-19	日銀金融政策決定会合
2025/10/4	自民党総裁選・国会議員投票
2025/10/28-29	FOMC
2025/10/30	ECB理事会

出所: Bloomberg